

中小企業動向調査

この調査は富山県内企業441社を対象に実施し、409社より回答があり、その結果をまとめたものである。

企業の調査資料として、平成19年1月～3月の実績、平成19年4月～6月の見込み、平成19年7月～9月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

調査時期：平成19年3月下旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	206	191	92.7%
非 製 造 業	235	218	92.8%
計	441	409	92.7%

日銀が4月10日に公表した金融経済月報（基本的見解2007年4月）によると、現状の景気判断について、「わが国の景気は、穏やかに拡大している」とし、先行きについては「景気は穏やかな拡大を続けるとみられる。」としている。

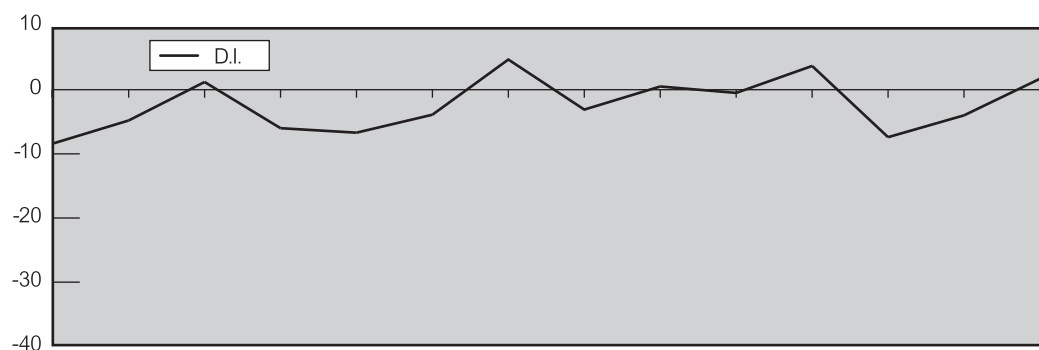
すなわち、「輸出は、海外経済の拡大を背景に、増加を続けていくとみられる。また、国内民間需要も、高水準の企業収益や雇用者所得の緩やかな増加を背景に、引き続き増加していく可能性が高い。こうした内外需要の増加を反映して、生産も増加基調をたどるとみられる。この間、公共投資は減少基調を続けると考えられる。」として、景気は穏やかな拡大を続けるとしている。

I. 企業概況

企業概況の推移……（全産業）

(%) 見込 予測

期別 種別	16 年			17 年				18 年				19 年		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
良 い	13.2	18.9	21.8	19.7	17.7	17.7	22.2	19.1	19.7	18.3	20.9	17.6	13.6	13.4
普 通	65.3	57.4	57.6	54.6	57.9	60.7	60.3	58.7	61.3	62.9	61.8	57.4	68.8	74.9
悪 い	21.5	23.7	20.6	25.7	24.4	21.6	17.5	22.2	19.1	18.8	17.2	25.0	17.6	11.7
D. I.	-8.4	-4.8	1.2	-6.0	-6.7	-3.9	4.7	-3.1	0.5	-0.5	3.7	-7.4	-4.0	1.7

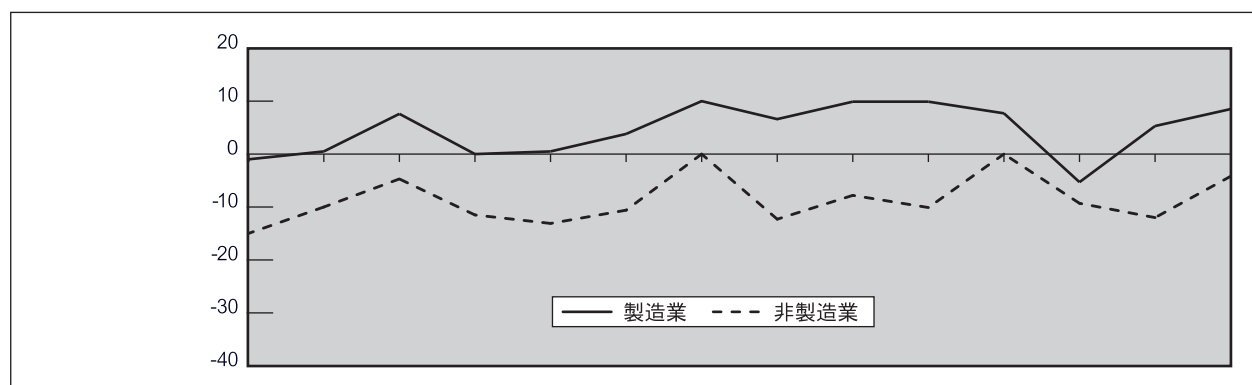


企業概況の推移……（うち製造業のみ）

期別 種別		16 年			17 年			18 年				19 年			
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
良	い	15.7	19.8	25.4	22.6	22.3	21.5	25.3	23.9	25.7	24.5	22.4	18.1	18.6	16.5
普	通	67.7	60.9	56.9	54.9	56.0	60.8	59.5	58.9	58.6	60.9	62.8	58.5	68.1	75.5
悪	い	16.7	19.3	17.8	22.6	21.8	17.7	15.3	17.3	15.7	14.6	14.8	23.4	13.3	8.0
D . I .		-1.0	0.5	7.6	0.0	0.5	3.8	10.0	6.6	9.9	9.9	7.7	-5.3	5.3	8.5

企業概況の推移……（うち非製造業のみ）

期別 種別		16 年			17 年			18 年				19 年			
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
良	い	10.9	18.0	18.5	17.1	13.6	14.4	19.4	14.6	14.3	12.6	19.5	17.1	9.3	10.7
普	通	63.2	54.0	58.3	54.4	59.6	60.6	61.1	58.5	63.6	64.7	61.0	56.5	69.4	74.3
悪	い	25.9	28.0	23.2	28.6	26.8	25.0	19.4	26.9	22.1	22.7	19.5	26.4	21.3	15.0
D . I .		-15.0	-10.0	-4.7	-11.5	-13.1	-10.6	0.0	-12.3	-7.8	-10.1	0.0	-9.3	-12.0	-4.2



(1) こうした全国の状況の中で今回の調査では、業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い－悪い」は、19年1～3月期実績は▲7.4と前期比11.1ポイント悪化した。

先行きについて、19年4～6月期のD.I.は、前期比3.4ポイント改善する見込となっている。

(2) 業況判断指数D.I.の19年1～3月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は16年4～6月期以来11期ぶりにマイナスとなった。非製造業も前期比9.3ポイント悪化している。

先行きについては19年4～6月期のD.I.は製造業では改善見込みであるが、非製造業は更に悪化見込みとなっている。

製造業の業況判断指数D.I.先行きについて、19年4～6月期見込は5.3、7～9月期は8.5とプラスとなる見込みであり、マイナス期間は脱すると予測している。

一方、非製造業の業況判断指数D.I.先行きについては、19年1～3月期は▲9.3でありマイナスの水準が続く見込となっている。